



協生環境推進室 Web サイト
http://www.diversity.keio.ac.jp



岩波協生環境推進室長ほか

FRONTIER

教育・研究の最前線

「独立自尊」・「独立他尊」のキャンパスを目指して 協生環境推進室の設置に寄せて

常任理事・協生環境推進室長 岩波敦子
いわたみあつこ

私たちは今、多様な価値観と社会的背景を持った人々が織り成すグローバル化という変化の波に直面しています。グローバル化とは必ずしも国際的な活動や交流にとどまりません。私たちは一人ひとり異なる尺度の世界を持っていて、それらが重なり響き合う関係を築くことがグローバル化に他ならないからです。

2018年4月に設置された協生環境推進室は、ワーク・ライフ・バランス、バリアフリー、ダイバーシティの3つの事業を推進する組織です。一見目的の違う事業の集合体のように思われるかもしれませんが、そこには共通の理念が通底しています。それは、異なる価値観への理解、互いの人格を尊重する姿勢、そして何より自分らしく生きることへの共感と配慮です。

例えばワーク・ライフ・バランス事業は、働く女性を取り巻く環境整備だけに注力するのは十分ではありません。結婚・出産・育児といったライフステージで男女ともにしなやかに働き続けられる制度設計はもちろん重要ですが、

多様化するライフスタイルについて周りの理解を深める啓発活動や、より多くの方々が直面する介護への支援も必要です。

障害者支援を行うバリアフリー事業、あるいはダイバーシティ事業の推進においては、物理的なバリアフリーとともに、心のバリアフリーという視点が欠かせません。支援への理解を促す各種講演会、シンポジウム、ワークショップ、セミナーなどを順次開催します。

福澤諭吉先生のもと編纂された『修身要領』（1900「明治33」年2月）では、「社会共存の道は人々自ら権利を護り幸福を求むると同時に、他人の権利幸福を尊重していやしくもこれを犯すことなく、以て自他の独立自尊を傷つげざるにあり」と述べられています。

互いに敬意を払い尊厳を認め合いながら、社会的固定観念と心身の制約を乗り越え、一人ひとりが自分の選択に応じた生き方を実現できる、より開かれた協生社会を目指して参りましょう。